あさげ新聞

新野は田植えが真っ盛り！

あさげの里を花形社長ご視察

5月14日興亜エレクトロニクス株式会社の株主総会終了後花形社長、百瀬取締役、五味監査役があさげの里をご視察されました。

あさげの里では水田、センブリ畑、育苗ハウスをご覧頂きました。

・水田では白毛餅と今年新たに始まったコシヒカリについてご説明。

・センブリ畑では今年新しい手法で種まきをした発芽の様子をご視察。

・育苗ハウスでは白毛餅の苗や野菜の苗の成長を見て頂き、その後コテージにて地域共生活動の昨年の成果と今年の見込みについてご報告。

花形社長からは「農業のプロセスは年一回の体験のチャンスしかないのでノウハウを蓄積して貰いたい。KOAグループの新しい取り組みとして今後の活動をとても楽しみにしています。」とコメント頂きました。

その後わら工房、マスク工程のご視察。

発芽の様子をご確認される花形社長

今月活動

1．稲作事業

【白毛餅／コシヒカリ栽培】

・代かき／除草剤／田植え実施

2．薬草事業

【センブリ栽培】

・今年のセンブリ畝の有孔ポリフィルムと遮光ネットの撤去

・昨年のセンブリ畝集約と移植

3．園芸事業

【ほおずき栽培】

・脇芽かき／消毒作業（2回）

【トウモロコシ栽培】

・甘太郎定植

・ゴールドラッシュ定植

・霜対策用アナトンの設置

・甘太郎、あんみつ姫の種まき

【野菜栽培】

・キュウリの苗の定植

・ピーマンの苗の定植

・ミニトマトの畝作り

・パプリカの畝作り

・大玉すいかの畝作り

4．藁細工事業

・竹細工の研修

・藁工房のDIY完成

・鯛飾り習得

田植えの終わった水田

地域共生推進室　発行
【8号】
2021年6月1日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどんどん寄せください。採用された方には旬の野菜をプレゼント！

mail；
ta-hara@koaglobal.com

トピックス

5月21日降水量100㎜を超える大雨と、強風によりあさげの里の多くの畑が水浸しやアナトンがめくれる被害に見舞われました。大雨の中メンバーで排水路を掘り緊急対応し、結果翌日には水が引き苗には大きな被害はありませんでした。

稲作事業

〈代かき〉

田植えのシーズンが始まり、今年導入したハローを付け代かきを行いました。

代かきは田植えに向け土を細かく砕き、水とかき混ぜ、土の表面を平らにする作業です。

代かきの目的は田んぼの水漏れ防止や苗を植えやすくし、苗の活着と発育を良くする為です。

今年は休耕田の代かきを行いました。数年間放置されていたため普通の田んぼより代かきに数倍の時間がかかりました。

田畑は常に人の手が入っていることにより良い田畑が維持されます。

〈白毛餅田植え〉

白毛餅の田植えを二条歩行型田植え機「みのる式」で実施しました。今年は育苗をビニールハウスで実施した為、育成も良く苗長が20㎝ほどありました。

あさげの里の村松（健）さんが人生で初めて歩行型田植え機で田植えを行いました。

休耕田の畦工事をした為、田んぼの中がデコボコでした。「田んぼの中は歩くのが大変で機械を水平に保つのに碍子運搬で鍛えた筋肉も役に立たず翌日は筋肉痛で大変でした。」と初体験について語っていました。

〈コシヒカリ田植え〉

コシヒカリの田植えはメンバー所有のイセキの乗用四条田植え機を借用し行いました。借用にあたり伊那から軽トラに乗せ片道3時間掛け下道にて移動しました。メンバーは移動だけでへとへとでした。

田植えは四条植えで植え付けスピードも早く順調に田植えが終わりました。また、苗不足の不安もありましたが、新型の田植え機は株間が瞬時に調整出来終わってみれば苗箱数もぴったりでした。

大雨の中の田植え

センブリの栽培

長野県野菜花き試験場のアドバイスを受け種まき後の発芽を促すために実施した有孔ポリフィルムを外しその後遮光ネットの撤去を5月末に行いました。遮光ネットを開けてみると〝何と言うことでしょう〟畝上には数えきれないほどの1～2ミリのセンブリの芽が顔を出しました。

その量は単位面積の発芽数から計算すると畝全体で約六十八万もの芽が発芽していると推測され来年の収穫が期待されます。

トウモロコシの栽培

蔵のブランド品の甘太郎、あんみつ姫、かかさまの種まきを収穫時期をずらす為に計4回行いハウスで育苗したのち3回目までの定植が終了しました。

苗の定植は50センチメートル間隔の2列で一畝388本になります。その後新野は寒いので霜対策としてアナトンをかけました。97メートル畝に90センチメートル間隔で支柱を立て両サイドをピンで止めていくため一畝で216回のウサギ飛びをしたことになります。メンバーの足腰はガタガタです。

苗の定植を行う為の治具を原田さんがゴルフクラブを改造して作成してくれました。育苗ポットの根部分の形状とゴルフクラブの先端が同じ為一発で定植出来ます。定植作業が大幅にスピードUPされました。

野菜の栽培

〈キュウリの定植〉

おせんしょ市場向けキュウリの畝立てを行いました。畝間にアーチパイプを入れ、キュウリ専用ネットを張り通路で収穫できるようにしたので昨年より進歩です。

今後定植は3回に分けて行い収穫時期を7月から9月まで伸ばし長い期間おせんしょ市場へ提供する予定です。

〈ピーマンの定植〉

ピーマンを定植しましたが畑は水はけが悪くまるで泥沼で、足がとられて思うように作業が出来ず、定植に半日かかりました。

水はけをよくするために畑の周囲に人手による排水溝を掘りました。今後水はけがよい畑になる事が期待されます。

〈ミニトマト他の畝作り〉

白毛餅の苗床が空いたので、ミニトマト、パプリカを定植するため、畝立てを行いました。昨年のパプリカは露地栽培で色がつかず終わった為、今年はハウスで栽培します。

今月のワンポイント

野菜苗のご注文をありがとうございました。定植後の管理についてのワンポイントです。

【わき芽かき】

わき芽かきをしないと茎と葉が茂り過ぎて花芽がつきにくくなり風通しが悪くなるため**葉の付け根から出てくるわき芽を、すべて取り除きます。**

芽かきはハサミで切るとハサミの刃に樹液を返してウイルス病に感染することがあるので、晴れた日の午前中に手で摘み取る事が原則です。

第2弾としてキュウリ苗木を50本程販売する予定です。

藁事業

〈竹細工の研修〉

和合で竹細工職人としてご活躍の井上さんに竹細工の指導を頂きました。

竹の種類の勉強から始め、真竹、破竹、孟宗竹等の種類がある事を知り竹細工には真竹が向いている事を知りました。

竹細工は竹かごの製作をしましたが、竹ひご作りが主で竹ひご作りはとて危険な作業で皆ドキドキしながら作業しました。次回はアグリで使用する腰かごを作成する予定です。

〈DIY完成〉

わら工房のメンバーによるDIYも内装が終わり、最後玄関の扉を入れ替え花壇に花を植えて全てが終了しました。赤ちょうちんが下がれば綺麗な女将が出てきそうです。